

Have a good time, COFFEE.

珈琲と エ ト セ ト ラ ○○○ Wonder-full days 2024

美
し
く
情
緒
あ
ふ
れ
る
ま
ち
並
み
に
、
珈
琲
や
た
く
さ
ん
の
美
味
し
い
も
の
、
楽
し
い
も
の
が
集
ま
り
ま
し
た
。



ぶらぶらと、まちを歩いてみる。
道すがらを面白がる。
日常を掘りさげると、
いつもの景色のなかに、心振れる、好奇心が芽吹く。
珈琲と音楽、そして本。
それに、ちょっと気のきいた美味しいものがあれば、
もう最高だ。

めぐり、めぐる津山
新しい好奇心の扉が開く



Reflections of light, joto town

「珈琲」という文字が生まれたまち、城東でめぐりあう一杯の珈琲、ひと、もの

豆を挽き、ドリップし、抽出される一滴一滴。珈琲を攪拌する時の香り、味わい、五感で感じる豊かさ。「珈琲」とともに思いを巡らせる静かな時間は、ひとりであることも誰かといることも、程よい距離感で包んでくれる。

津山城下、東部に広がる城東地区は、重要伝統的建造物群保存地区にも選定された、江戸時代の町家からなる風情あるまち並み。「珈琲」の当て字を考案したとされる洋学者であり、西洋植物学にも精通していた宇田川榕菴ゆかりの地でもある。町家のひさしが

長く連続する特徴的な往来と人々が集まる空間であり、コミュニケーションの場所だった路地が作る「空間の襞(ひだ)」は、郷愁とともに、訪れる人に新鮮な感覚を呼び起こす。

城東のまちは、車を降りて、ゆっくりと歩くスピードがいい。普段見落としていた景色に出会う、ふとした会話を通じて地域の新しい顔が見えてくる。イベントをきっかけに、人と人が出会い、もともと地域が持っていた可能性や新しい魅力が抽出されていく。そんな時間が、歴史と未来の間にある今、日常の豊かさに気付かせてくれるだろう。



掲載情報は2024年8月現在のものです。本媒体記載の記事、写真、イラスト等の無断転載、複写を禁じます。 © 津山まちじゅう博物館コンソーシアム 2024

Wonder-full Days
珈琲と○○○(エトセトラ)2024
イベントに関する問合せ

Web <https://wonder-fulldays.com/>
Tel 0868-32-7000(津山市歴史まちづくり推進室内)
Mail tsuyama.machiju@outlook.jp



2024.9.29 sun 10:00-17:00
会場 津山市城東地区一帯 [小雨決行]

主催 津山まちじゅう博物館コンソーシアム 後援 津山市・津山市観光協会 協力 城東連合町内会・つやま城東まちかつ

